

科目名	Introduction to American Culture I				
英語科目		ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n)を参照		
開講期	春学期	開講学部等	外国語学部	配当年次	2年次
教員名	鈴木 雅恵	単位数	2単位		

授業概要／Course outline

This class will be taught in English. この授業は基本的に英語でおこなうが、念のために日本語の説明も加える。

This semester, the focus is on American Culture seen in films (movies).

Through films, we will see their history of immigrants, multiculturalism, race, gender, violence and wars.

The students are also required to do their own research related to the films and give presentations on the images of American hero and nationalism.

アメリカの侵略の歴史、人種問題、ジェンダー、戦争等をテーマに多面的に検討し、その背景を学びつつ、現代アメリカの抱える諸問題を我々に関わる問題として考える。具体的には、講師の提示する映像に関連する、日本語・英語による資料(ニュース記事, 学術研究, 宣言文, 文学作品, 動画, 音楽等)を受講生自らが発掘し、それを分析・考察し、英語でディスカッションするなど能動的に学習する機会を組み込む。受講生は本授業を通じて自分が興味のあるテーマを選び、それについて調査・研究し、授業終盤にプレゼンテーションを行うことで、世界の文化の多様性に対する理解を深めるとともに、確かな分析力や思考力を鍛える。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

・アクティブ・ラーニング授業 (形態: ディスカッション, ディベート/グループワーク/プレゼンテーション)

形態: ディスカッション, グループワーク

授業中に課題を与え、受講生間で意見交換し、結果を英語で発表する。

・ICTを活用した授業 (形態: 遠隔教育(ビデオ・オン・デマンド等))

Moodleを用いたクイズやフィードバック、資料配布、事前・事後学習指示をする。

オンデマンド授業はMoodleで行う。

・実務経験のある教員による授業

この授業は映画配給会社での貿易実務及び翻訳経験のある教員が担当する。

授業内容・授業計画／Course description・plan

第1回 Introduction: What is America Culture?

(「アメリカ」「文化」とは何か(授業の概要, 進め方, 評価について教員が説明する。))

第2回 American Dream and Disney

第3回 Disney and War Efforts

第4回 Discussion on politics, media and reality in America (アメリカの問題について英語で話し合う)

第5回 Bowling for Columbine (1)

第6回 Bowling for Columbine (2) + 「教員-学生間の対話」実施

第7回 Bowling for Columbine (3) + Discussion on American Gun Culture

★オンデマンド テーマ: Immigrants in USA

オンデマンド授業は、第6回の授業時に、90分相当の課題をMoodleに掲載する。

(第8回の授業時まで、課題を行うこと。)

第8回 Forrest Gump (1)

第9回 Forrest Gump (2)

第10回 Forrest Gump (3)

第11回 Black Ships and Minstrel Shows

第12回 Group Presentation (1) Who are the American Heroes?

第13回 Group Presentation (2) Nationalism and American Music

(第12回、第13回 は、アメリカン・ヒーロー像および音楽にみられる愛国主義について受講生が調査したことを共有する。)

第14回 試験と解説によるまとめ

「学習成果実感調査」実施

* 尚、スケジュールは受講生の人数などによって変更する可能性がある。

事前・事後学習/Preparation and assignments

第1回: Introduction

事後学習: Moodle上の課題をする。

第2回: America Dream and Disney

事前学習: Native American とJames Town への英国からの移民について調べておく

事後学習: Moodleに感想をあげておく

第3回: Disney and War Efforts

事前学習: Disneyという会社の戦争協力について調べておく

事後学習: Moodle上の課題をする。

第4回: Discussion on politics, media and reality in America

事前学習: アメリカに関する時事ニュースをまとめておく

事後学習: 授業で話し合ったことをMoodle上にまとめておく

第5回: Bowling for Columbine (1)

事前学習: コロンバイン高校銃撃事件について調べておく

事後学習: 映画についての質問に答えてムードルに上げる。

第6回: Bowling for Columbine (2)

事前学習: マイケル・ムーアの考え方について調べておく。

事後学習: Moodle上に自分の考えをまとめる

第7回: Bowling for Columbine (3)

事前学習: Gun Cultureとアメリカの歴史について調べておく

事後学習: 自分の考えをまとめてムードル上に上げる

★オンデマンド

事前学習: オンデマンド授業の内容についてあらかじめ調べておく

事後学習: 調べたこと、資料を読んで理解したことを自分の言葉でまとめる。

事後学習: Making of Americaという視点から、今日の授業はどのようにとらえることができるかまとめておく。

第8回: Forrest Gump (1)

事前学習: 映画の内容を予習する(できれば、原作小説を読んでおく)

事後学習: 映画の中で紹介された歴史的背景や諸問題に関しての自分の考えをムードルにまとめる。

第9回: Forrest Gump (2)

事前学習: ベトナム戦争と反戦運動について調べておく

事後学習: 映画の中で紹介された、アメリカ社会へのベトナム戦争の影響についてムードルにまとめる。

第10回: Forrest Gump (3)

事前学習: 映画と原作小説の違いについて調べておく

事後学習: 全体の感想と議論の結果をMoodleにまとめておく。

第11回: Black Ships and Minstrel Shows

事前学習: ベリー提督、ブラックフェイス、 minstrel・ショーといったキーワードについて調べておく

事後学習: 19世紀に日本に紹介されたアメリカ文化の功罪についての意見をムードルにまとめておく

第12回: Group Presentations (1) Who are the American Heroes?

事前学習: 選んだテーマに沿っての発表の準備

事後学習: ほかのグループの発表についての感想をまとめ、自分のグループの発表についてはPPと発表原稿を提出する

第13回 Group Presentation (2) Nationalism and American Music

事前学習: 選んだテーマに沿っての発表の準備

事後学習: ほかのグループの発表についての感想をまとめ、自分のグループの発表についてはPPと発表原稿を提出する

第14回 試験と解説によるまとめ

事前学習: 今までの復習

事後学習: 学習成果実感調査の提出

事前・事後学習は週につき、180分行うことが基準である。オンデマンド授業にも同様の学習時間が必要である。

授業の到達目標/Expected outcome

1. アメリカの歴史、社会、文化について基本的な知識を習得しながら、世界の文化の多様性を理解し、異文化を排除せず受け入れ、柔軟に対応できる適応力を培う。
2. 受動的に知識を吸収するだけでなく、疑問を持ち、能動的に調査し考察できるようになる。
3. 授業で扱ったアメリカ文化の諸相に関して、論理的に思考することができるようになる。

4. 自分の分析を他人にわかりやすい言葉で表現できるようになる。
5. グループワークを通じてコミュニケーション、ディスカッション能力を高めながら、異文化コミュニケーションの現状と課題について理解できるようになる。

身につく資質・能力/Competencies to be attained

- ・ 思考力
 - ・ 専門知識・専門技能
- 【外国語学部 英語学科】
- ・ 異文化理解
 - ・ 世界情勢と学習言語圏の理解
 - ・ 言語に関わる調査・研究・発信能力

履修上の注意/Special notes, cautions

基本的に英語で行う講義授業であり、授業中にも英語によるディスカッションなどを行うことに留意しておくこと。
This is a course conducted in English, but the target is non-native English speakers.

評価方法/Evaluation

授業への貢献度および授業時発表などの平常点（10%）、小テストやレポートなどの課題（60%）、試験（30%）
授業内で課したレポート結果について、随時、授業で紹介しフィードバックを行う。

教材/Text and materials

基本資料はMoodleにアップするか、授業中に配布するが、リサーチのための参考文献は自分で調べる必要がある。

日本語による参考文献の例：

- 長坂寿久『映画で読む21世紀』朝石書店。
- 藤原帰一。『映画の中のアメリカ』朝日新聞社。
- 川本三郎編『映画監督ベスト101』新書館。
- 奥村 みさ 『映画でわかるアメリカ文化入門』など

質問や相談の方法/Instructor contact

メールアドレスは Moodleに公開されます。

Office Hour: Thursday 12:00-12:50

at 第二研究室棟 515 (this is the office building near the library9